ゴ　ク　ロー　サン

5 9 6 3 ハート通信

VOL. 44　　竹原運輸株式会社

発行日　平成 23 年 11 月 15 日

★事務所スタッフからの一言

皆様、いつも竹原運輸をご愛顧いただきましてありがとうございます。日頃は大変お世話になりありがとうございます。

最近、車間距離と人間関係にはすごく関係があるな、と感じています。

車間距離の近い人は、人に対しても高圧的だったり強制的だったりして、自分の主張を押し通そうとする人が多い気がします。

車間距離の適度な人は、人との関係性をとても重視していて、全体的な視点で物事を見ているような気がします。

車間距離の遠い人は、人との関わりが苦手で、自分勝手なところがあるマイペース型に見えます。

車間距離とは、実は人間との距離であって、車の中には感情を持った人が運転しています。
ただ運転している人が、どこの誰かはわからないのがおもしろいところだと思う。

どこの誰かわからない人に対して、自分はどういう関わり方をするのか？
これが車間距離だと思います。その人の生き方や考え方、思想、哲学が車間距離だけでなく運転全体に現われてきます。

そういう目で人の運転を見ていると、運転が結構楽しめると思います。

竹原和行

◆事務所スタッフからのハートの一言◆

１０月２６日（日）に本年度下半期社内全体安全会議を開催致しました。

始めに車両火災防止・作業手順の確認等を映像交えながら研修し、改めて些細な確認ミスが大事故を招くことを勉強しました。次にヨガの実技を「痛い、痛い」と叫びながら？和気あいあいと行い、身体を柔軟にすることでより健康体になることを我が身で実感出来ました。また、社内省エネコンテストの中間発表を行い、成績優秀者に日頃から自分自身が気を付けている走行の注意点を発表して頂きました。
社内省エネコンテストの中間成績を見ますと大変興味深いことがあります。

コンテスト以前より非常に省燃費走行に努力し、他の乗務員よりも高い燃費効率をすでに達成している乗務員が、コンテスト実施直前に
「これ以上燃費よくなりませんよ。もう限界に近いですね」
と苦笑いしながら私に語っていました。

しかし、中間成績を見ますとやはり達成率が他の乗務員よりさらに高いのです。平均３％の改善率が10%の改善率になっているのです。
「限界に近い省エネ走行からどうして伸ばしたの」とびっくりして尋ねると
「速度を落とすしかないですよ。以前の時速 65 ㎞を 60 ㎞に抑えて走ってます」と自分の苦労を楽しそうに答えていました。

並々ならぬ努力を毎日やり続けて素晴らしい結果を残しています。本人の努力が目に見えて数字で表れ、それが会社からの評価につながり、本人の意欲が益々湧いているのかなと感じていますが、何より楽しんでやっていることで努力が長続きし結果に結びついているようです。

どんなに苦しい状況においても、やる気と創意工夫次第で良い結果は出せることを教えて頂きました。また、結果を出し続けることの重要性を改めて痛感致しました。

社長　竹原正和

《2 つの挑戦》

当社は、今交通事故（公道上での事故が当事者にならない）ゼロに挑戦中です。残り 12 月 31 日まで達成に向かって邁進中です。

今回全社員から公募して安全、エコも対する標語（181 標語）を提出してもらいました。その中で優秀な標語を安全衛生委員会の委員が厳正なる審査を行い、金、銀、銅賞を決定し前回実施された安全大会の席上で社長から入賞者の表彰をして頂きました。

この安全標語は、社内に（玄関、休憩室、会議室）掲示をされ、安全に対する啓蒙を図って乗務員に徹底させております。

安全標語 3 点紹介申し上げます。

金賞　「だろう」じゃない！「かもしれない」で危険予知

羽咋営業所　藤重新吾

銀賞　縮めるな　命を守る　車間距離

本社ＬＰガス部門　武藤一弘

銅賞　急ぐほど　増えるストレス　減る燃料

本社ＬＰガス部門　佐々木功一

(他に銀賞、銅賞一点ずつが選ばれております)

併せて今回､中共済で公募していたコンテストにも応募して当社より1名が全国で入賞することが出来、本人も大変喜んでおりました。入賞作品を紹介申し上げます。

「その速度。命もタイヤも磨り減らす。」　油ローリー部門　杉野　芳浩

この様にせっかく全社員が応募した安全標語なので掲示するだけでなく、さらに安全のために役立てようとのことで、安全の記録（運転日報）に入賞標語作品をゴム印にして標語が押されており、常に業務中でも目に付くように工夫して無事故の達成に挑戦しています。

もう一つの挑戦は、社内の省エネコンテストの実施です。このコンテストは 3 ヶ月間の長丁場でもあります。二酸化炭素の削減と燃費の改善、安全運行の実行での挑戦です。

今回は、大変厳しい目標値に挑戦をしています。それだけに社長通達では、省エネの方法が細かく 7 項目にわたって具体的に数値化されて（「見える化」）休憩室に掲示されています。

乗務員は、一日の運行を無事終えて、帰社すると今日の燃費はどうだったか部門長からフォローされ、乗務員同志でも種々燃費談議に花を咲かせております。

安全走行、省エネ（コスト削減)、乗務員同志の連帯感（コミニュケーション）の効果も出来てきて、全社一丸となって真剣に取組んでおります。私達に与えられている使命である輸送の品質の向上と安全を最優先にして、日々現実のためにいろいろな施策を考案しながら実施し挑戦を続けています。

橋本　勝

『私達の喜び』

最近は、物流環境の変化の周期が短くなって来ていると痛切に感じます。常にお客様の立場、同じ目線で考え、行動して行かねば変化のスピードについて行けなくなっています。

当社の一般貨物部門、LP ローリー部門、油ローリー部門、すべての部門に於いてもお客様から「必要な時」「必要な量」だけ用意するというジャスト・イン・タイムが求められて来ています。これもタイムリーに生産を行うことによる効率化と製造工場で抱える在庫の削減をすることが目的であるから我々もお客様の要求には絶対に答えて行かなければなりません。

そのためには「時間」に於いても「量」に於いても、御依頼を受けた通りに的確に納入することが使命であると認識し、乗務員にもその指導を行っています。納入時間も細かく指定されており、それに合わせて綿密な配車を各部門長は、配車表とにらめっこをしながら配車に取り組んでおります。

当然ですが、時間厳守のためには安全運転こそが基本であると考えており、充分に時間の余裕を持って出発させ、常に不測の事態を想定しながらの走行をさせておりますが、それでも道路の状況、天候の急変等で時間のズレが発生して来ます。その時は大変です。常にリアルタイムで現場との情報交換が始まり、部門長から的確なる指示が飛び交います。

当社のローリー車は、いつも同じ時間帯で同じ場所を走行しています。（部門長は GPS が無くても○○号車は今どこらを走行している頃だと運行経路を把握しています）近隣を走行している乗務員に連絡応援体制の指示が出されます。すべて指示通りの行動に入ります。

このようにして各部門共に様々な経験を積み重ね、苦難を乗り越えてこのスピードで進んでいる物流の変化に遅れることなく、懸命なる努力を続けております。常に私達に与えられている最大の使命は、「輸送の品質」と「安全」を優先にして、お客様に最適なる物流の提供をして行くことだと考えております。

その実現のために何か出来るかを優先して考え、行動に移して行くその気持ちを日々忘れない集団でありたいと思っております。お客様からお預かりした大切な商品（財産）を無事に目的地へお届けすること。お客様からの少しでも喜んでもらえること。これが私達の喜びなのです。

斎藤　洋一

いよいよ冬も近づいてまいりましたが、スタッドレスタイヤの準備はお済でしょうか？
長い間、保管していたタイヤは空気圧が低下しています。タイヤを交換してジャッキを下したら、タイヤに空気がなくペチャンコにならないように、事前にタイヤの空気圧の調整をしておきましょう。

また、一度使用したスタッドレスタイヤ装着時にタイヤ点検すると、タイヤが片減りや段減りによりタイヤがノコギリ状になっている場合があります。その場合は山の高い方を後方になるように装着してください。逆にするとタイヤの寿命が短くなりますのでご注意下さい。あと、バッテリーも寒くなると上がり易くなるため、この時期にバッテリー液の補充もしておきましょう。念のために冬の間は、ブースターケーブルを携行されるのもいいですね！　車のトラブルなしで楽しい冬を過ごしましょう。

吉川　文雄

朝夕の冷え込みが日増しに厳しくなってきましたが、皆様お元気でしょうか？

日頃より弊社に御下命頂き、誠に有難うございます。

さて、今回のハート通信は紅葉シーズン真っ只中ということで、福井でも有数の紅葉スポット『刈込池』に爺が行った時のことを書かせて頂きます。

『刈込池』は福井県大野市、願経寺山ふもとの標高 1,140mにある周囲 400m、水深 4.5m、そこに流れ込む川はあっても流れ出す川は一つもない。にもかかわらず水位は一定という不思議な池で、紅葉の時期には周囲の樹木や山々を水面に映し出すとても神秘的な池でもあります。　という情報と、今が見頃だということだけで『刈込池』に行くことにした爺でしたが、かなり大変な思いをしました。　国道 158 号線から県道 173 号線に入り 20 分程走り福井県の秘湯『鳩ヶ湯』に到着。　ここでゆっくり温泉に入って帰りたい気分になりながらも、そこからところどころ乗用車同士もすれ違い困難なガードレールもないワインディングロードを 10 分程走り、刈込池に行く為の上小池駐車場に到着。

ここから歩いて刈込池を目指すのですが、登山道に入りしばらく下ると打波川の吊り橋があり、それを渡るとそこからは残り 1.3km を 686 段の階段を上って行く階段コースとの案内板。楽に登れるとハイペースで上って行ったのですが 400 段を過ぎた頃には、心臓バクバクで足もまともに上がらなくなり汗だくになっていて、おまけに　**熊出没注意**　の看板も至る所にあり途中で休憩するのも怖い感じです。ただ、降りて来られる方々がみなさん「こんにちは　あと少し頑張って」と声をかけてくれ、休み休み 1 時間程かけてようやく『刈込池』に到着しました。あまり天気が良くなかった為、写真で見るような紅葉が綺麗に水面には映ってはいませんでしたが、三ノ峰を含め周りの樹木は綺麗に色づいていて見事なものでした。下りは階段の少ない岩場コースをゆっくりと周りの樹木を散策しながら、こちらも 1 時間程かけて下りて駐車場に戻りました。ファミリー向けのハイキングコースだと思って出かけましたが、普通に高校生の部活かと思うくらい途中はハードなものでした。しかし、登山をする人達とのふれあいや綺麗な紅葉を散策し、心身ともにリフレッシュできる紅葉スポットとしてとてもいい所だと感じました。また、紅葉の時期だけでなく、青葉若葉の頃もとても気持ちいいとのことで、みなさんも熊ベル持って一度行かれてみてはと思い、今回紹介させていただきました。

大橋　哲夫

暦の上では立冬を過ぎましたが、外は快晴で暖かい気配さえ感じます。皆様、いつも竹原運輸にご愛顧賜りまして有難う御座います。ハート通信の紙面上では今年度最終号となります。奇数月が発行月ですので年間 6 号なんですね・・・。「今月はハート通信の発行月ですので期限までに原稿を提出してください」と編集担当者から催促があるのも年間 6 回だけなんですね～っ。多いような少ないような・・・

改めて物事を図り知ると意外な発見をしたり気がついたりするものです。普段の何気ない生活や習慣に対しても「感謝」を忘れてはいけません。悩み事を与えてくれた発見に感謝し、悩み事を聞いてくれる友人の存在にも感謝です。

いろいろな場面で気づくか気づかないかで大きな差がでてきます。今年も残り僅かとなりました。皆様、よいお年をお迎えられますよう心からお祈りいたします。

池上則和

いつもお世話になりありがとうございます。

晩秋の候　皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日、中学２年生の娘が職場体験で家内が勤める職場におじゃましてまいりました。

母親が仕事をする姿を見、周囲の方々によほど良くして頂いたのでしょう、『将来したい仕事はペット関係のお仕事』と言っていたのですが、母親と同じ仕事をしたいと考えるようになりました。

職場体験が終わり、お世話になった方々にお礼の手紙を書くので教えて欲しいと言われたのですが、私が最も苦手とする分野の一つであり勉強不足を痛感しました。

しかし、そんな素振りは気付かれないようにして、子供（大きくなってあまり相手にしてくれません）と手紙を書くという貴重な体験を通して成長に感動してしまいました。

辻川　伸吾

4 つのルール③

4 つのルール、「頼まれ事はためされ事」「0.2 秒のＹＥＳの素直な返事」、そして 3 つ目が「できない理由を言わない」です。

例えば、人に頼み事をした時に、時間がないから出来ない、忙しいから出来ない、やった事がないから分からない等で出来ないって言われることがあります。

当然の事ながら出来ない事ばかり考えているので出来るわけがありません。仕事においても出来ないと思う事も出てくると思いますが、それをどうやったら出来るか？と考えるのが大事ではないかと思います。やった事がないのならやってみればいいと思いますし、時間がないなら作る努力をしたらいいと思います。出来ないからどうやったら出来るかを考えてみると、日常生活においても仕事においても充実感が増えてくるのではないかと思います。だって出来ないと思っていた事が出来たら嬉しいですよね。ぜひ、実践してみて下さい。

谷口　学

紅葉も深まり日中でも風は冷たく冬がだんだんと近づいているのだなと実感します。

今年も後わずかになり、1 年もあっと言う間に過ぎようとしています。子供にとっては、なかなか充実した１年になったのかなと思います。

長男坊は、剣道をやり始めて初めて試合に出る事が出来ました。まだ、１勝も出来ていませんが今は、引き分けまでもっていけるようになりました。次男坊は、生まれて初めて交通事故に遇いました。事故に遇うまでは、三兄弟の中では、一番落ち着きの無く目を放すと何処へ行くかわからな事も多々有りましたが、事故後は、懲りたのか少しだけ落ち着きました。（他の子よりまだ落ち着きは無い）そして、三男坊、こいつは、ヤンチャ度が、パワーアップした１年で目を放すと本当にヤバイので、目が離せません。来年、子供たちが、どの様に成長してくれるか、楽しみでもあり、恐ろしいものもあります。

植田　泰樹

今年最後のハート通信です。今年を振り返ってみますと、東日本大震災、異常気象、1 月には我が県福井では雪で道路が寸断されたりと、また全国的に大変暑かったり、豪雨、と本当にすべての面で災害の多い１年でありました。（世界的にも・・・・）

ただ、自分達の生活を見直す機会となり、普通に生活出来ること、電気や水道など勿論、すべてにおいて不自由なく生活出来ることがこんなに有難いと思った事、色々考えさせられる年でもありました。皆様も家庭か会社か少なからず大震災の影響を受けた事と思います。これからも当分影響があると思われますが、感謝の心を忘れずに自分達の出来ることを精一杯やっていくことが大事だと思っております。今年も残すところわずかですが、良い年が迎えられますようにお祈り申し上げます。来年も宜しくお願い致します。

吉川　佳代

次回お楽しみに・・・・